

令和3年度 第4回瀬戸市地域公共交通会議 会議録

開催日時	令和4年3月29日（火） 午前10時から午前11時30分まで				
開催場所	パーティセと4階 マルチメディアルーム				
出席委員	20名	欠席委員	4名	傍聴者	8名
会議概要	<p><b>1 会長あいさつ</b>          (事務局)          会長を務める市長は本日欠席でございますので、申し訳ありませんが、次に進ませていただきます。</p> <p><b>2 議長あいさつ</b>          (議長)          本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。          コロナの問題は、まだ先が見えない状況となっており各鉄道会社も3月にダイヤ改正を行うことで新しい生活様式に合わせたものに変えていこうとしておりますが、まだまだ模索段階のように思われます。          しかし、公共交通は地域住民の生活にとって確実に必要なものだと考えておりますので、本日も様々なことを議論できたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p><b>3 議事</b>          (1) 協議事項 令和3年度瀬戸市地域公共交通会議補正予算について          別紙資料1に従って事務局から説明</p> <p><b>(質疑応答)</b>          (議長)          ご説明いただきました令和3年度瀬戸市地域公共交通会議補正予算について、何か皆様からご意見及びお気づきの点などございましたらお受けいたしますが、いかがでしょうか。</p> <p>(公募市民)          しなの線及び水野循環線・みずの坂線について質問させていただきます。          人件費等が減少したとのことでしたが、人件費等の具体的な内容を教えてください。</p> <p>(議長)          事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局)          運転手の人件費等につきまして、まず人件費以外の内容についてですが、緊急事態宣言中に運行をとりやめた便があり、その結果燃料費等が減少しています。          また、人件費につきましても運行をとりやめた便が発生した関係で労働時間が減少し、それに伴い人件費が減少しています。</p>				

(議長)

他はいかがでしょうか。

特にご意見がないようであれば、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

採決 <全会一致で承認>

- (2) 協議事項 令和4年度瀬戸市地域公共交通会議予算について  
別紙資料2に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

何か皆様からご意見及びお気づきの点などございましたらお受けいたしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

市内基幹バス運行関係について、令和3年度補正後の予算では1億4,150万円となっていますが、令和4年度当初予算では、1億3,830万円となっております。令和4年度では、令和3年度の補正後の予算に近い金額となっていますが、この積算の根拠を確認させてください。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

令和3年度の当初予算につきましては、令和元年度の実績を基に算出しています。そのため令和2年度以降に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響が加味されずに算出されたものとなるため、予算が低く計上されています。しかし、令和4年度の当初予算につきましては、令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を加味して算出しているため令和3年度の補正後予算に近い金額を計上することができております。

(公募市民)

承知しました。

にじの丘学園関係についても確認させてください。令和3年度の当初予算では、約537万円を計上されておりましたが、令和4年度の当初予算では、1,170万円と大幅に金額が上がっているのはなぜでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

にじの丘学園運行関係には、にじの丘学園の一斉下校や緊急事態宣言中に行います増便がありますが、令和3年度は、その内の一斉下校への対応便についてのみ計上させていただいておりました。しかし、令和4年度につきましては、一斉下校への対応便に加えて緊急事態宣言に伴う増便も一部含まれた予算となっているため金

額が増加しております。

(公募市民)

承知しました。にじの丘学園の生徒が令和4年度に約100人増えることが見込まれております。それに伴い、収入が上がると思われませんが、収入と運行経費がどのように変化するか確認させてください。

(議長)

事務局、お願いします。

(事務局)

にじの丘学園関係の通学定期の運行協力金と通学定期の費用につきましては、公共交通会議の予算には含まれておりません。教育政策課にて歳入を見込んでおり、運行協力金を1人当たり6,000円の金額で市へ納入してもらっております。また、歳出の方で名鉄バス(株)より通学定期を購入しております。

したがって、公共交通会議の予算としては、名鉄バス(株)の運行経費に対して通学定期などを含めた運賃収入を差し引いた金額を補助金として支払うため、その額を計上させていただいております。

(議長)

他はいかがでしょうか。

この件について、特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。

採決 <全会一致で承認>

- (3) 報告事項 市内基幹バスOD調査に基づく利用状況について  
別紙資料3に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

OD調査は、何時の便に乗客がどこで乗ってどこで降りたかの調査になります。何か皆様からご意見及びお気づきの点などございましたらお受けいたしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

利用者推移等をまとめられることは大変参考になります。

しかし、利用者が減ったバス停については、もう一步踏み込んで今後どのような方向性で考えるかが重要だと思いますが、事務局はどのように考えられているのでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

今回出た結果を基に地域の沿線協議会や運行協議会と協議をし、今後の運行に繋がりたいと思います。また、しなの線につきましては、平日の利用者は回復してきているが、休日の利用は減っているといった結果も出ておりますので、休日の利用促進についても沿線協議会と検討したいと考えております。

(議長)

現在の利用状況を信号の色で表現すると何色になると考えておりますか。

(事務局)

黄色だと考えております。しかし、現在の結果は新型コロナウイルス感染症の影響による部分も大きいので今後の動向を見極めながら精査する必要があると思います。

(議長)

今後の資料の出し方については検討されてみても良いなと思います。他にご質問等ございますでしょうか。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

OD調査ということでしたが、事務局の方でどこで乗ってどこで降りたかのデータはもっているのでしょうか。また、新型コロナウイルス感染症が拡大しているにもかかわらず瀬戸北総合高校での乗降者が増加しておりますが、理由としては何が挙げられるのでしょうか。

(議長)

事務局、お願いします。

(事務局)

OD調査と銘打っておりますが、正式なもののようにどこで乗ってどこで降りたかまでのデータはなく、乗降者の人数を各バス停毎に調査しているものです。

また、瀬戸北総合高校での乗降者が増加した件につきましては、高校にも問い合わせましたが、始業時間など学校の仕組みが変わった点はなく、純粋にバス通学の学生が増加したと考えられます。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

承知しました。コミュニティバスについてもバス停毎の乗降者数は把握されているのでしょうか。

(事務局)

コミュニティバスについても同じようにバス停毎の乗降者数を把握しております。

(議長)

その他ご意見はございますか。

(副議長)

今回出していただいたデータを基に各バスの利用の変化の要因を分析し、PDC Aサイクルのうちのアクションにつなげることが大事だと考えます。

基本的に大きな要因として挙げられるのは、定期または定期外の利用、あるいは通勤通学や通院の利用です。通勤の利用については、テレワークの普及もあり、利用が減少していると思いますが、通院については、陶生病院のバスロータリー完成によるハブ化がありましたが、その成果はどのように考えておられますか。

(議長)

事務局、お願いします。また、運行事業者である名鉄バス様にもご発言いただければと思います。

(事務局)

陶生病院のバスロータリーについては、令和2年2月に完成し、ハブ化を行っておりますが、1日当たりの乗降者数をみると新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少してはおりますが、他と比較すると減少幅は比較的小さく、一定の効果はあったと考えています。

(名鉄バス株式会社)

瀬戸市様の利用者数については、弊社が運行している他路線と比較して、ほとんど同一の傾向です。また、にじの丘学園関係の利用がある赤津線につきましては、大きく伸びております。

今後も利用の動向を注視し、ダイヤの編成等について協議したいと考えます。

(議長)

赤津線については、にじの丘学園の関係で様々な対応をしており、路線バスの新しい在り方として全国の参考事例になりうると思っております。

また、高校生の通学利用については、学生及び親御様の通学に対する考え方が変わってきているとも思いましたので、学校関係者と議論する機会があると良いかと感じました。

その他ご意見はございますか。

(副議長)

先ほどこの調査で出た結果を基にアクションに繋げるという話をしましたが、公共交通会議はそのアクションを考える場でもあると思います。例えば陶生病院の利用促進のため、愛知医科大学病院のようにバスの案内をデジタルサイネージにしたら良いのではと思いますが、そういった意見やアイデアがあってもいいと思います。

そのような提案に対し、市が費用や効果の面等から採用するかしないかを検討し、採用した場合はその効果を会議で検証すること、この繰り返しが重要だと考えます。

(議長)

今までは基幹バスの話が中心ではありましたが、何か来年に向けて検討できたらということなどご意見はございますか。

(公募市民)

県道中水野品野線は以前国鉄バスが高蔵寺と品野を繋いでいた際に利用していた道路でありました。

現在は愛知環状鉄道もあるため、中水野駅と品野を繋ぐ路線を作ることができれば、道の駅の活性化や瀬戸北総合高校の通学利用者の利便性向上にも繋がるのではないかと思います。

(議長)

東西を繋ぐ路線です。地域と協議を行うとこのような色々なアイデアが生まれると思います。

他はいかがでしょうか。

(公募市民)

バスに乗られる方の大半は瀬戸市内に住んでいる方だとは思いますが、今後利用者を増やす材料としては、市外からの利用者を増やすという方向性も今後は必要ではと考えますが、いかがでしょうか。

(議長)

2022年は団塊の世代が75歳になる年であります。運転免許証の返納などが加速し、公共交通が大事な時代に入りますので、今後はターゲットを定めて検討していければと思います。

(事務局)

公共交通会議で出た意見を検討し、取り組んでいきたいと考えております。

(議長)

他はいかがでしょうか。

こちらは報告事項ですので次に進ませていただきます。

- (4) 報告事項 令和4年度瀬戸市地域公共交通会議スケジュールについて  
別紙資料4に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

こちらについては報告事項となりますが、何かご意見、ご質問等はございますでしょうか。

特にご質問等がないようなので、次の報告事項に移りたいと思います。

- (5) 報告事項 瀬戸市地域公共交通会議事務取扱規程について  
別紙資料5に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

コミュニティバスの予算が地域公共交通会議に入ることに伴って、コミュニティバス事業の契約者が地域公共交通会議になるなどの事務の扱いが変わるため整理し

ていただいたものになります。この件につきましても、何かお気づきの点や、ご意見等あればお受けいたしますが、いかがでしょうか。

特にご質問等がないようなので、次の報告事項に移りたいと思います。

- (6) 報告事項 令和3年度瀬戸市高齢者移動支援事業の実施報告について  
別紙資料6に従って事務局（高齢者福祉課）から説明

**(質疑応答)**

(議長)

移動に関連した事業となりますので、この場を借りてご報告させていただいたものとなります。この件につきましても、何かお気づきの点や、ご意見等あればお受けいたします。

(公募市民)

道泉地区について定期運行への移行を目指すとしているが、運賃はどのように想定していますか。

(議長)

事務局いかがでしょうか。

(事務局（高齢者福祉課）)

当初から参加者に費用を負担していただく方針ではありましたが、今年度につきましては、道路運送法上の関係もあり参加費を無料にせざるを得なかったのが実情です。

また、道路運送法第4条への移行を検討しているのは、定期的を実施することで地区に定着した楽しみとしてご利用いただきたいためです。道泉地区には、すでに利用者に費用を負担いただきたい旨を伝えております。

(公募市民)

承知しました。道泉連区の実証実験に使用された車両はどのようなものになるのでしょうか。

(事務局（高齢者福祉課）)

カーマコースとアピタコースで運行事業者が違いますが、カーマコースにつきましては、9人乗りのジャンボタクシーを使用し、アピタコースでは、4人乗りの普通乗用車に分かれてご乗車いただいた形となります。

なお、東明地区につきましてもアピタコースと同じく普通乗用車を使用しました。

(公募市民)

承知しました。すでに細かく検討していただいているとは思いますが、相乗りの形になりますので今後の課題としては、一人で乗られる場合と満席状態の場合のような違う状況の際に料金を定額とするのか人数で割るのかといった細かい場合を想定し、地域住民の方に説明しておく必要があるかと思えます。

(議長)

事務局いかがでしょうか。

(事務局 (高齢者福祉課) )

ご意見のとおりで、今回実証実験を行うにあたって事前にも何度も地域住民の方とお話をさせていただいているところではあります。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係もあり、実証実験を1度しか行うことができていないため、地区のニーズがどこにあるのか、費用がどの程度であればこの事業に価値を見出してくれるのかにつきましては、検証がまだまだできていないところであります。来年度1年間検証させていただきまして実装に向け、地域住民の方と検討して参りたいと思います。

また、公共交通との住み分けにつきましても慎重に検討していきたいと考えております。

(議長)

他はいかがでしょうか。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

ご報告いただきました高齢者移動支援事業については、地域公共交通計画に記載はあるのでしょうか。記載があるのであれば、どのような方向性や見通しとされているのでしょうか。

また、事務局 (高齢者福祉課) 様がおっしゃられたとおり、公共交通との住み分けはとても重要だと考えており、健康で外出に問題ない方には引き続き現在の公共交通をできる限り利用していただきたいという思いもありますので引き続き担当部署同士で連携をとりながら公共交通との住み分けのご検討をお願いします。

(事務局)

現在策定済みとなっております瀬戸市地域公共交通網形成計画には、特に位置づけはございません。

また、公共交通との住み分けにつきましては、都市計画課も高齢者移動支援事業の委員として参加させていただいており、意見交換をしておりますので、引き続き連携しながら検討して参りたいと思います。

(議長)

他はいかがでしょうか。

(名鉄バス株式会社)

高齢者の移動についてのお話でしたので弊社としての独自の取り組みについて紹介させていただければと思います。弊社では、昨年从高齢者の方向けのフリーパスであるゴールドパスとシルバーパスというものを発行しており、こちらにつきましては、1ヶ月から3ヶ月の期間を指定して購入することができ、有効期間中は名鉄バスの一般路線の全ての路線において乗り放題というものです。高齢者の方のお出かけ、お買い物の支援として行っておりますのでご利用いただければ幸いです。

また、東明地区で行っていただいていたような地域の交流を促進する事業をゴールドパス及びシルバーパスをお持ちの方に対してお茶会と称して行う予定でございます。ご紹介までとなりますが、ご興味をお持ちいただければまた説明に伺います



のでよろしくお願ひいたします。

(議長)

どのような方を対象としてどのようなサービスを提供するのかについて整理してもらえればと思います。他はいかがでしょうか。特にご質問等がないようなので、次のその他に移りたいと思います。

まず、資料がございます令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について事務局から資料の説明をお願いします。

(7) その他

別紙配布資料に従って令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について事務局から説明

(議長)

こちらにつきましては、第三者評価委員会というものに瀬戸市の公共交通に関する取り組みを紹介し、大学の先生から評価をいただくものです。この件につきまして、何かお気づきの点や、ご意見等あればお受けいたします。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局)

補足となりますが、今回の第三者評価委員会では、特に緊急事態宣言中における市内基幹バス赤津線の臨時増便や各バス路線における新型コロナウイルス感染症以外による利用者分析を行っていたことについて良い評価を受けていました。

なお、しなのバスセンターにおける各バスとの乗継時間の長さ及び待合環境の改善については、今後の改善を期待する点として挙がりました。

また、住民バスにおける今後の運転手の担い手の確保についても課題として挙がっておりましたので今後改善に向けて検討していただければと思います。

(議長)

この件につきまして、他にご意見等あればお受けいたします。

今後の課題については、ご意見を参考にして次の施策を検討できればと思います。

その他ご紹介やご発言はございますか。

(事務局)

2点ご報告がございます。

1点目は、前回の公共交通会議にて説明させていただきました分かりやすい公共交通情報の提供としましてG T F Sの提供について取り組んでまいりましたが、南山大学の石川先生のご協力もありまして2月よりG o o g l eマップにてコミュニティバスの情報を確認することができるようになりましたので、この場を借りまして石川先生を始め石川研究室の皆様にお礼を申し上げます。

2点目は、委員の皆様任期についてです。今年度から委員に任命させていただきましたが、任期は2年あり、来年度も引き続き皆様にご協力お願いしたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

(議長)

その他皆様からご発言はございますか。

(副議長)

先ほど事務局から紹介いただいた話を補足させていただきます。

公共交通を利用するためにはどこからどこへ行けばよいのか、また何時に出でどの程度の時間がかかるのかという情報が必要になります。従来は、地図や時刻表を確認し、自分で考えていましたが、デジタル化が進みスマートフォン等で何事も調べる時代になってきました。

そこで、デジタル化に対応するため、Googleマップで時刻やルートを検索できるようにしました。

ただ、このような検索ツールは色々なものがありまして、あまり馴染みがないかもしれませんが、Ma a Sというものに名鉄様も独自で取り組んでおられます。

このように検索ツールは様々なものがありますが、検索ツールにて公共交通の情報が検索できるようになると、交通網が充実している箇所と充実していない箇所がより分かりやすくなるという側面もあると思います。

別件でもう一点お伝えさせていただきますと、当方の研究室においてジブリパークに観光に来た際に瀬戸市へも観光に行きたいかというアンケートを実施させていただきましたところ、東京の方は比較的瀬戸市に寄りたいとの回答がありました。

そこで、東京の方の交通手段を確認すると、車ではなく鉄道で来る方が多く、瀬戸へも鉄道で観光したいとのことでしたが、鉄道で瀬戸に行くためには乗り継ぎが多いことを知ると尻込みしてしまう方もいました。そのため、別の交通手段として小型の観光の巡回バスを希望される方が多い結果となりました。

実際に巡回バスを走らせるかはまた別の話ですが、公共交通の利用促進と瀬戸市の観光の活性化の両方を考えて手を打つ必要があるかと思えます。今後も当方の学生とこのような情報を発信していきますので、それを基にアイデアを出していければと考えております。

(議長)

この件につきまして、質問等はございますか。

(公募市民)

副議長の話に関連したものとなりますが、内閣府が出している全国の自治体のリーサスという分析システムを確認すると瀬戸市に観光で来る方の多くが近隣市町の方というデータがあります。本来はジブリパークの完成を機に、首都圏をはじめとした遠方からの観光客を期待できるようになりますが、実際に来てもらうためには観光というマーケットに合わせるため各部門で連携し、総合的に戦略を練る必要があるかと思えます。

(議長)

今後の方向性についての話でした。瀬戸市だけでなく他の近隣市町村や鉄道会社とも連携できれば良いかと思えます。

## ○ 閉会

(事務局)

磯部議長、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、お忙しい中、長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

なお、今回の会議をもちまして、令和3年度に予定されていた瀬戸市地域公共交通会議が終了となりました。1年間誠にありがとうございました。また、先ほどもご報告させていただきましたとおり、来年度も皆様には瀬戸市地域公共交通会議の運営にご協力いただきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和3年度第4回瀬戸市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。